

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べると客数が110%、売上も108%である。ただし、前年比では客数が96%、売上が92%で、これはひとえに天候に左右されてしまったということである。猛烈な雨が降ってくると客足が止まってしまふ。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・この7月も暑さが厳しく、冷たい飲物やアイスクリームなどを中心に、月の後半は非常に出荷が多かったことが、他の需要も引っ張ったようである。
	やや良く なっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・猛暑と省エネブームでエアコンと冷蔵庫等、夏物商材の動きが非常に良い。また、太陽光発電等も順調に動いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・7月後半から暑い夏となり、盛夏商材の動きが良い。夏らしい気候で季節商材が売れているため、数字的には良くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年比で見ると客数が減少しており、売上も前年割れしている。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・季節商材は前年の150%以上で推移している状況である。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・予約して来る単価を気にしない客が増えている。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・当地域では大手自動車メーカーが非常に元気になり、客の動きが非常に活発になっている。その関係で当地区のみ、来客数の動きその他、やや良くなっている。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・この時期の主要来訪者である関東近郊の小学校を中心とした林間学校では、やはり福島第一原子力発電所の事故による放射能に対する不安から他地区への移行は若干残ってはいるものの、ほぼ順調にきている。また、地区によって若干の差異はあるものの、一般観光客も徐々に盛り返してきている。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・東京スカイツリーが盛況を呈し、ロンドンオリンピックが開幕を迎え、夏の旅行シーズンに入って当業界は上向きの状況である。
		通信会社（販売担当）	販売量の動き	・ボーナス商戦で、新商品のスマートフォンの販売が依然、好調に推移している。販売数は前年比110%ほどである。
		その他サービス〔フィットネスクラブ〕（マネージャー）	お客様の様子	・市内の就労者の数が増え、当施設の会員数も増えてきている。
		住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・同地域の別荘業者は、中古物件を中心に前年比が上向いているとのことである。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・分譲住宅の販売が、東日本大震災前の数字近くまで持ち直しつつある。集合住宅、店舗建築は引き続き好調であるため、住宅の持ち直しは大きなプラス要因となる。	
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・これ以上悪くなりようがないというのが実感だが、当店を目指して来てくれる客が多少戻りつつある。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・来客の一番違う点は、暑さのためもあるが、見るだけで何も買わない日が多いことである。今までとは異なってきている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・厳しい暑さが続いていて来客数の減少はみられるが、10年来の古い客の来店がある。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は猛暑が続いているため、皆暑さに負けて動きが悪い。食欲も出ないようで、簡単な物で済ませてしまう傾向が多い。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・ようやく暑さが続く猛暑となり、季節商材が動き出している。ここまで来ると我慢しきれずに購入することが多いため、単価が高い商品の購入は少なく売上も伸びないが、冷蔵庫など長期間使用する物には省エネ、エコ意識が購入時の決め手になっている。相変わらず、消費意欲は見えてこない。
百貨店（販売促進担当）		販売量の動き	・今夏の衣料品のクリアランス日程が大幅に遅くなり、売上の低下が懸念されたが、3か月前と比べて大きな変化は感じられない。	

スーパー（店長）	単価の動き	・数か月単位の変化はない。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数の落ち込みが大きくなっている、昨年の猛暑、節電対策で売れた反動が大きい。
スーパー（統括）	販売量の動き	・食品は、気温が低い影響で飲料、アイス、麺類などの盛夏商材が軒並み昨年を大きく割り込んでいる。昨年は東日本大震災の影響から内食傾向の需要があったが、徐々に外食比率が上がってきており、買上点数に影響が出てきている。衣料品は、初旬から中旬にかけて昨年より最高気温の平均が4～7度も低く、盛夏物の動向に大きく影響している。特にクールネック、ステテコ、機能肌着が大きく落ち込んでいる。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・現在、電線類の地中化工事が商店街の中で行われており、来客が大変少なく、景気の悪さにもつながっている。
衣料品専門店（販売担当）	単価の動き	・今までは1か月を通じて、日によっての変化がそれほどなく、悪い方向で底なし沼に近い、べたなぎの平坦な雰囲気だったが、今月に限っては波が出てきたような気がする。波が出てきたということは低いほうもあるが、幾分良い日が増えてきたような印象を持っている。これが続くかどうかは少し不透明である。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー補助金で新車販売が一時的に好転したが終了が見え、しわ寄せ的に現在、販売が落ち込み傾向にある。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー補助金終了前の駆け込み需要がみられた。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・エコカー補助金の期限が7月中、8月中旬又は8月中と、終了期日が予測されており、堅調に推移している。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・3か月前と比べて、固定ユーザーはかなり減ってはいるが、新しい客はそれなりに増えており、トータルでは横ばいの状態である。販売量はさほど増えてはならず、新規客がある程度入ってきて売れているものの、今までの客は買換えができないということで、全体では2、3か月前と比べて販売量、月の販売台数は同じくらいである。
乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・一部メーカーは、エコカー対象車種の需要は伸びている。エコカー補助金が8月中に終了する見込みであり、その反動によって国内自動車販売は需要が低下し、厳しい環境となる。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・気温も上がり、夏物の販売が加速すると思われるが、想定を下回って6月までのマイナスを埋めるまでには至らない。特に土日の来客数が伸びず、明確な理由も見当たらない状況である。
住関連専門店（統括）	販売量の動き	・気温の高い状況が続く、来客数の減少傾向もみられる。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べて客数の増減が認められず、変わらずに推移しているようである。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客数はほとんど増減がなく、強いて言えば少し減っている。ここ何か月間かの統計を見ると、客単価もやや落ち気味である。
スナック（経営者）	来客数の動き	・毎年落ちていくだけで、良くなっていく気配がない。力尽きて辞めていく店がどんどん多くなる。努力したら何とかできるのではないかという気持ちもそろそろ限界という店が多いようである。
スナック（経営者）	来客数の動き	・いよいよ世代交代となって、私のほうが子供の手伝いをすることになり、新しい客の様子が気になっている。変わらないということは、前と同じく悪さが変わらないということである。
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・夏の最盛期を迎え、予約状況が思わしくないと思えば間際になってインターネット経由の予約が増え、おおむね前々年並みである。
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・当地域では相変わらずそれほど景気が良いとは思わない。昨年と変わらない状態が続いている。後半になって高校総体などもあるため、7、8月の頭は意外と客が入ると思うので、それを含めて期待をしている。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・原油、為替など不安定要素が多く、そのことが大きく影響して景気も不安定にしている。

旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・前年の今とは違って良いほうに向かっていることは確かだが、景気が良いわけでは決してなく、夏休みということでの来客も減少している。また、発生が非常に遅いため、成約に結び付かない。	
通信会社（経営者）	販売量の動き	・停滞が続く。東日本大震災復興の行政予算などもあるようだが、すべては後期にならないと動き出さないようである。	
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・前月比での動きとしてはさほど変化がなく、消費傾向は足踏み状態である。お盆時期を前に、無駄遣いを抑えている。	
通信会社（局長）	お客様の様子	・客の様子に特段の変化は感じない。猛暑の関係から、客との商談時間が短くなったり、商談に集中力が欠ける傾向は季節柄、例年どおりである。これほどの猛暑になると、この先の商談数、成約率の低下が気になる。	
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・前年に比べて増加しているものの、前々年に比べると大きく減少しており、前月よりも減少幅が大きい。	
遊園地（職員）	来客数の動き	・3か月前と比べると、来客数に大きな変動は見られない。4月、7月共に、団体の来客が堅調に推移している。	
ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・来場者数は3か月前と比べると時期的にはほぼ変わらない数字が出ているが、前年比では減っている。	
競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、売上とも、ほとんど変化が見られない。	
その他サービス〔清掃〕（所長）	それ以外	・職場でも夏休み特別休暇が付与される時期になり、家族旅行等に出かける職員もいて、それに伴う出費も増えるため、多少景気が良くなる。反面、温暖化現象で出費を抑える職員もいるため、大きな変化は見られない。	
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	お客様の様子	・夏休みに入ったため、その分来客の動きは増えているが、前年比で見ると販売量、来客数、単価は横ばいである。しかし、回数券の売上などが前年比でも80%くらいの割合となっているため、この部分ではやや悪くなっている。	
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・依頼数はまだ少なく、仕事と仕事の合間が空くことが多い。	
設計事務所（所長）	来客数の動き	・今月来月と、夏休みを取る都合もあって稼働日数が少ない。来客数もあまり良くないため、受注につながりにくい。	
設計事務所（所長）	来客数の動き	・問い合わせは増えてきているが、なかなか実現まで進まないケースが多い。	
設計事務所（所長）	来客数の動き	・仕事の依頼はもちろんのこと、相談等での来客もほとんどない状態が続いている。	
住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・相変わらず客からの引き合いは少ないが、飲食関係の問い合わせが増えてきている。ただし事務所、出張所等については全く引き合いはない。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・登山やキャンプの時期に入るが、学校等のあっ旋は済んでしまっている。また、毎年のものであるが、夏休みに入るため、このところ少し学校用品の動きが悪い。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・夏祭り等のイベントには人が出るが、暑さのためか、平日の日中は来客が極端に少ない。
	一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・ほとんど決まった固定客以外の、フリー客はほとんどない。
	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・中元商戦も終わり、全体では前年比92%、個数比では89%と、約1割落ちている。今回は特に産地直送品が非常に悪く、個数で同65%となっている。単価が5,000円以上なのがネックなのが、全国的に放射能などで特産品が毛嫌いされているのが、海のもの、山の物、どちらとも売上が良くない。また、今回は特に飲物と羊かん類が非常に良かったが、フルーツゼリー関係が前年と比べると悪い。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・天候不順が影響している。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・クリアランスセール開始日の分散化により、売上減となっている。また、中元商戦はスロースタートで、後半多少盛り返したが、トータルでは前年割れの結果である。中元はもらってから返すという動きが顕著である。

百貨店（店長）	販売量の動き	・経済環境はますます不透明で先行きに光明は見えないなか、セールのスタートも同業やその他小売業で大きく足並みが乱れたこともあって、盛り上がり欠けた商戦となってしまった。	
スーパー（経営者）	競争相手の様子	・消費者の動向を見ても、消費意欲が低下しているようである。	
コンビニ（店長）	来客数の動き	・ここにきてまた同業他社が出てくるようになり、状況が大分悪化している。前々月に比べれば若干戻ってきた様子はあるものの、現在もそうだが今後はやはり少し厳しい。特別に大きく悪いということではないが、やや悪くなっていく。	
衣料品専門店（店長）	単価の動き	・中旬過ぎより晴れの暑い日が多く、Tシャツやカットソー等の単価の低い商品が動いたため、客単価が約25%減少している。	
家電量販店（店長）	それ以外	・昨年の地上デジタル放送への移行に伴うテレビの駆け込み需要が7月24日で一巡するため、今月は悪い。エアコンや冷蔵庫、洗濯機などは好調だが、映像関連の落ち込みが極端にひどい状況である。	
高級レストラン（店長）	販売量の動き	・街の中が閑散としている。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・7月は夏祭りや暑さのため、来客数が落ちている。後半からは夏休みで遠出をしていることやオリンピックの影響もあり、来客数が減っている。	
都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・福島第一原子力発電所の事故の影響で、当地区への夏の海水浴客が減少している。まだまだ回復していない。	
都市型ホテル（営業担当）	競争相手の様子	・協力してやっていかなければならない近隣の組合でいろいろと聞くと、非常に稼働が厳しいという話が聞こえてくる。当ホテルの稼働はそこそこではあるが、近隣地域では全般的に稼働が良いわけではなく、良い所と悪い所との差が大きいことが見えるため、全体的にはどちらかという悪くなっている雰囲気を感じられる。	
タクシー運転手	来客数の動き	・飲食客の減少である。	
タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼も夜も客の出足が悪く、前年同月比13%の減少である。	
ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・東日本大震災の復旧復興が依然として進まない。一部の公共施設が使えるようになった程度で、依然として復旧作業のめどが立たず、市民生活に影響を及ぼしている。このような状況下で、一般の消費者はなかなか消費に回らない状況である。	
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・リゾートコースのため、上旬は夏の暑さが少なく、予約が伸びなかった。また、周辺コースの値下げ競争が強烈である。	
ゴルフ場（業務担当）	販売量の動き	・コンペの来場が今回は少なかったため、全体的に単価が伸び悩んでいる。客はプレー本来の姿で、それ以外のショップやコース売店等の売上が低迷している。	
その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	単価の動き	・給料日の平均を25日とすると、アミューズメント、ネットカフェ共に月末から月初にかけては1万円札の利用客が増えたが、このところ1万円札を利用しての千円札のおつりがあまり出なくなっている。5千円札、千円札、500円玉が多く回収される両替をしている。客数も若干落ち気味だが、それよりも客単価、使用額が減少している傾向にみえる。	
美容室（経営者）	お客様の様子	・美容学校に出入りする業者の話では、7月は猛暑でも自動販売機が前年より2割くらい、非常に減っているということである。また美容院も、外気温が猛暑になっても来客数は前年比で増えていない状況である。	
住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・問い合わせ件数、売り物件数など、とにかく鈍い動きになっている。条件面で良い物件が少ないこともあり、成約件数も極少である。消費税増税が決定する見込みでの特需も期待できそうになく、立ち直りに時間がかかりそうである。	
悪くなっている	一般小売店 [衣料]（経営者）	販売量の動き	・観光客の動きでは、駅前ではなかなか客が見られず、なぜ来ないのか分からないと言っており、困っている。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・地方の商店街では勤めている人が全く見られず、年金受給の高齢者しか来ない。

		スナック（経営者）	来客数の動き	・今年の7月の売上は、例年と比べると30%落ちている。景気のためなのか、営業内容が悪いのか、判断がつかない。
企業動向関連 (北関東)	良くなっている	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・環境装置のフロン回収機とスプレー缶、ガス缶処理装置は順調で、新しく複数リリースし、レンタルで10月まで忙しい。
	やや良くなっている	金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・何軒もの取引先で、これから9月ぐらいまでは皆仕事が多くある。現在のとおりに動くという見通しであるため、9月ぐらいまでは安定している。
変わらない		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・自動車関連は、新型スポーツカーの好調、スポット応援、試作開発案件の増加など忙しく対応しているが、建設機械関連の動きは相変わらず鈍い。しかし、全般に新規案件の引き合いが増えてきている。
		食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・7月に入って連日の猛暑が続いており、ビールや発泡酒の消費は伸びているが、ワインは伸び悩んでいる。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の商品は例年、夏場に落ち込むが、今年の落ち込みは例年になく悪いようである。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・この時期になるとあまり荷動きがない。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・産業機械、特装車両の受注量が変わらない。特装車両は、今後も見据えて平準化生産に入っている様子である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・量産や固定した仕事は少ないが、仕事量は確保できている。周りの製造業の、忙しい所と暇な所の差が出ている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・6、7月は非常に良かったが、お盆休みで稼働日数が少ない分、8月は大幅に売上が落ちる。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・暑い日が続く、季節のビール、飲料水、アイス等の荷動きも多くなり、車両の取扱が増えている。また、電力の節約意識もあって昨年同様、扇風機や清涼グッズのシェード、マット等のひんやりグッズも伸びており、現在、前年並みの物量を確保している状態である。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業では、海外景気の減速や収益面の回復の遅れなどから、企業の業況感は足踏み状態にある。底堅い海外需要を取り込み業績の改善につなげた企業と、低迷する国内需要中心の企業との業況感格差が広がっており、二極化の動きもみられる。非製造業では予想ほど落ち込まなかったが、天候不順や受注競争の激化などから、業況感が低下している。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・ホテル、旅館業において、予約状況が例年並みである。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・前年比で広告出稿量は変わらない。良くも悪くもなく推移している。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・自動車販売関連はやや良いが、観光関連がかなり悪い。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・ここところずっと、一進一退が続いている。ほとんど変わりがなく、低値安定という状況である。
		社会保険労務士	取引先の様子	・倒産する事業所が増えているわけではないが、売上が春先から低調な状態が続いている事業所が多い。
		その他サービス業[情報サービス]（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化は見られない。
やや悪くなっている		食料品製造業（製造担当）	それ以外	・大雨洪水や風評被害で、穀物の市場が高騰している。商品の値上げができればいいのだが、デフレ下ではなかなかできず、非常に厳しい状態が起きてきている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・輸出関連企業からの注文が少なくなっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・7月は6月とほぼ横ばいの状態だが、12～3月あたりと比べれば2、3割落ちている。8月の受注量は、昔からよくニッパチと言われるように、少し厳しい状況である。今年の2月は良かったのだが、8月は稼働日の関係もあって受注量が相当落ち、また低空飛行が続くそうである。

		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災での受注における影響が一段落し、また、今年の新機種計画が遅れているため、受注が伸びていない。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べると、非常に経費が増加してきている。電気料金値上げに伴う分が特に大きな負担増となっており、その他の経費もつり上がっている。そういったなかで、今度は量の問題がある。主力メーカーでは現在、増産体制にはあるが、先行き不透明なところから、生産の見通し上では前月から比べると量が少しずつ落ち始めている。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・低価格商品に辛うじて動きがあるものの、高額品の売上は鈍い。展示会でも普段使いのシンプルなデザインのジュエリーが主流になっている。暑い時期はどうしてもゴージャスなジュエリーの売行きが落ちる。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・改築計画が保留のままになっており、進展も見られない。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比85.3%で、極端に悪くなっている。前年は東日本大震災後の立ち直りと、地上アナログ放送対応最終月の駆け込みで出稿量が増えたが、今年はその分を差し引いてもマイナスとなっている。また、前々年比でも82%と大きく落ち込んでいる。
	悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・店頭売り商品の動きもなく、特注品受注の見込みも立たない状態である。
		建設業（総務担当）	それ以外	・公共工事主体で土木、舗装工事を行っている。受注高は前年比9%増だが、2年以上の工期の物件が2件あり、それを除いた数字では前年比減になってしまう。また、今期売上計上の物件も、前年の東日本大震災によって工期が大幅に延期になった物件が2件あり、最終赤字になってしまい、悪影響を受ける結果にもなっている。
		不動産業（管理担当）	取引先の様子	・管理している建物の維持費を減らすため、オーナー側から維持管理の見直し要請が多くある。また、委託していた業務を自分たちでやるとのことで、仕事が減少している。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(北関東)	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今までにない忙しさである。他の大部分の会社はあまり変わらないが、1社だけが特別忙しくなって100人増やすようなことになり、今は最高に良い。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・前年は東日本大震災があって周辺の当社の顧客、ホテル、宿泊施設関係はずっとひどかったが、取引先については前々年レベルの稼働率まで、稼働率的にはほぼ戻ってきているようである。他の宿泊施設などは、やはり勝ち組、負け組があるため、全体的にどうかは計り兼ねるのだが、当社に近い企業、施設関係ではそういった状況にあるようである。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・無業者のフルタイムの求職申込が前年同月比で約50%減少している。学卒、既卒の求職者が前年に多かったこと、また、離職者の減少がしばらく続いていることが要因と考えられる。このような状況も影響し、求職者全体の減少傾向が今後も続くようである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・昨年は東日本大震災、計画停電等の影響から宿泊業、飲食サービス業の消費が大きく落ち込んだが、現在は震災前までにほぼ回復している。イベント等を企画し、更なる集客を目指しての関連求人等もあり、求人全体として上向き傾向となっている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・中元商品の食料品、雑貨関係の募集が大分目立ってきているが、製造関係の募集は比較的少なめであり、3か月前とほぼ同じか、横ばいぐらいの状態で推移してきている。住宅関連の建売りは、結構活発さを見せてきているが、衣料品等と家具関係が伸び悩んでいる状態とみられる。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・派遣求人数の変化はない。退職に対する求人はあるため、一定数で推移している。
		求人情報誌制作会社（経営者）	周辺企業の様子	・建設業は特に悪く、近郊でも中堅の建設会社で倒産した所がある。全体の企業を見ても景気は低迷のまま、求人も厳しい状況である。

	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人数や就職者数の数値は横ばいで、新規求職者は減少傾向だが、有効求職者数は若干滞留があるように感じられる。目立った動きは見られず、事業所からの良い情報も聞いていない。
	学校〔専門学校〕（副校長）	求職者数の動き	・求人数が増えていない。一つの求人に対して複数の受験者が殺到している。また、大学生がこの時期で中小企業へ目を向けているため、大企業の求人数もあまりないようである。
やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・夏の賞与が前年より悪い。
悪くなっている	-	-	-